

(6) アスファルト合材

新潟県

記事提供：新潟県アスファルト合材協会

新潟県における令和6年度の10月～12月期の製造出荷数量は、県全体で309,000トンとなり、前年同期の337,000トンから28,000トン減少しました。また、4月～12月の累計では757,000トンとなり、前年同期の832,000トンから75,000トン減少し、前年比91%となっています。

1月～3月期が前年並みの出荷数量と仮定した場合、県全体の年間製造量は約906,000トンとなり、令和5年の100万トンを下回った実績からさらに約10%の減少が見込まれます。これは平成25年の実績1,550,000トンから10年間で約42%の市場縮小と製造数量の減少となり、各工場の運営維持に一層の影響を及ぼしています。

地区別では、上越地区は令和5年度に前年比5%増となりましたが、令和6年度は累計112,000トン（前年比93%）と再び減少傾向にあります。中越地区は累計240,000トン（前年比95%）、下越地区は384,000トン（同87%）、佐渡地区は21,000トン（同117%）となっています。特に下越地区の減少が顕著であり、県内全域で市場縮小の影響が深刻化しています。

製造数量が減少しているため、各工場の製造能力には余裕がありますが、大幅な製造数量の減少により、工場の出荷体制（人員）の維持や収益性の悪化が原因で工場の閉鎖を判断した企業もあり、令和6年は県内で2工場が閉鎖しました。今後さらに工場が減少する場合、アスファルト合材の運搬距離が長くなります。品質そのものは中温化技術などによってカバーできる面もありますが、2024年問題で露見したダンプトラックの不足により、ますます原材料の配送やアスファルト合材の運搬に支障が出ることが予想されます。

富山県

記事提供：富山県アスファルト合材協会

富山県における令和6年度10月～12月期の出荷状況は、県計では12万8千tで前年同期と比べ増減はなかった。地区別でみると東部地区が7万1千tで2%の減。西部地区が5万6千tで2%の増となった。

東部地区においては、高速道路などのスポット工事もあり能登半島地震の復旧工事で需要が伸びると予想されますが、県全体としては、ダンプトラックの運転手不足でひっ迫状態である。またそれに伴い合材用骨材の原石も枯渇気味になっており価格も上昇傾向にある。

石川県

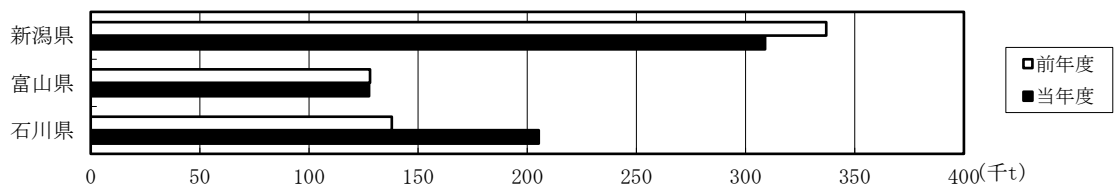
記事提供：石川県アスファルト合材協会

石川県における令和6年度10月～12月期の出荷状況は、前年同期に比べ加賀地区で前年比15.9%増、能登地区で前年比179.7%増、石川県全体では前年比49.0%増と昨年同時期に比べ加賀地区、能登地区共に増、特に能登地区は大幅増となり石川県全体としても出荷量は増加した。

主要材料であるアスファルト価格は、相変わらずの不透明感があり、為替相場も引き続き不安要素が多く余談を許さない状況。

またアスファルト関連の物件については、今後も能登地区においては、能登半島地震による復旧工事が多く控えており増加が予想される。また加賀地区に関しては能登地区とは逆に大型物件も見当たらず不透明感がうかがえる。

アスファルト合材出荷量の推移（10月～12月期）



県	地区	令和5年度 年計	令和6年度				
			4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	累計
新潟県	上越	▲5 136	▲14 31	▲8 35	▲2 46		▲7 112
	中越	▲4 276	▲10 63	▲6 82	▲1 95		▲5 240
	下越	▲6 546	▲15 104	▲8 121	▲15 159		▲13 384
	佐渡	▲4 23	0 5	40 7	13 9		17 21
	県計	▲4 981	▲13 203	▲6 245	▲8 309		▲9 757
富山県	東部	▲16 229	6 60	17 72	▲2 71		6 204
	西部	▲11 176	24 55	0 45	2 56		8 156
	県計	▲14 418	4 115	9 117	0 128		7 360
石川県	加賀	-4 373	6 86	▲5 88	16 127		6 302
	能登	48 130	141 52	74 60	180 78		126 190
	県計	6 503	34 138	20 148	49 205		33 492

(注)・上段は前年同期との比較

・集計は、新潟県

会員32社のうち32社

富山県

会員14社のうち14社

石川県

会員18社のうち12工場分

◎参考資料

アスファルト出荷量の推移（１０月～１２月期）



(単位：千t、%)

県	地 区	令和５年度 年 計	令和６年度				
			４月～６月	７月～９月	１０月～１２月	１月～３月	累計
新潟県	上 越	5	▲14	▲ 8	▲ 2		▲18
		4.8	1.1	1.2	1.6		3.9
	中 越	▲ 4	▲10	▲ 6	▲ 1		▲13
		9.7	2.2	2.9	3.3		8.4
	下 越	▲ 6	▲15	▲ 8	▲15		▲30
		19.1	3.6	4.2	5.6		13.4
富山県	佐 渡	▲ 4	0	40	13		▲ 9
		0.8	0.2	0.2	0.3		0.7
	県 計	▲ 4	▲13	▲ 6	▲ 8		▲23
石川県		34.3	7.1	8.6	10.8		26.5
	東 部	▲16	6	17	▲ 2		▲11
		8.0	2.1	2.5	2.5		7.1
	西 部	▲11	24	0	2		▲11
		6.2	1.9	1.6	2.0		5.5
富山県	県 計	▲14	4	9	0		▲14
		14.6	4.0	4.1	4.5		12.6
石川県	加 賀	0	6	▲ 5	16		0
		13.1	3.0	3.1	4.5		10.6
	能 登	0	141	74	180		0
		4.5	1.8	2.1	2.7		6.6
	県 計	0	34	20	49		0
石川県		17.6	4.8	5.2	7.2		17.2

(注)・上段は前年同期との比較

※特殊アスファルト合材等が含まれる全ての合材に対しての量

「アスファルト出荷量（千t）＝アスファルト合材量（千t）×3.5%」